

機械器具 70 歯科用鋳造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (35762000)

プログラマツト CS6

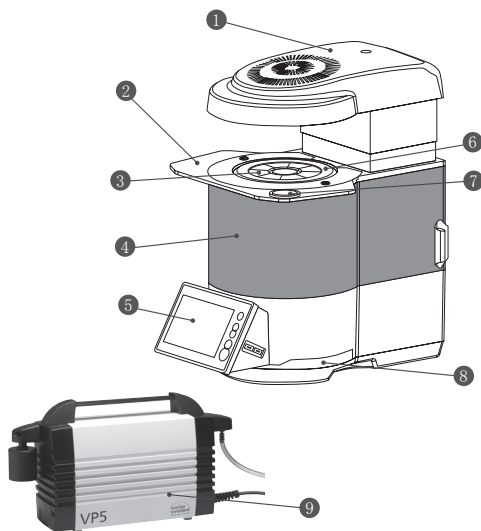
【警告】使用方法

- (1) 本品が動作中に高温になる部分に触れないこと。
[火傷の危険があるため]
- (2) 本品が動作中にファーンヘッドの下に手を入れないこと。[火傷および破損の危険があるため]
- (3) 電源は必ず十分な容量がある単独回路をとり、たこ足配線や細い延長コードの使用は絶対に行わないこと。
[ショートや過熱から火災の原因となり危険なため]

【形状・構造及び原理等】

本品は、①ファーンヘッド、②冷却トレイ、③オブジェクトプレート、④ファーンスペース、⑤タッチパネルカラーディスプレイ、⑥フレームプレート、⑦オブジェクトプレート用冷却トレイ、⑧ OSD (オブティカル ステータス ディスプレイ)、⑨バキュームポンプで構成される。

[装置概観図]



[電気定格]

電源電圧: AC200 ~ 240V ± 10%
電源周波数: 50/60Hz
過電圧カテゴリ: II
最大消費電流: 9A
到達真空度: 50hPa(50mbar) を超えないこと
動作モード: 間欠運転(運転) 機器
機器ヒューズ: 250V/T15AH(熱回路)
250V/T5AH(バキュームポンプ)

[本体寸法及び重量]

ヘッドを閉じた時のサイズ:
幅 280mm/415mm(冷却トレイ無 / 装着時) ×
奥行 495mm × 高さ 450mm
マッフルの使用可能範囲: 直径 55mm、高さ 40mm
重量: 28.5kg

[温度制御]

最高焼成温度: 1560℃

【使用目的又は効果】

ポーセレンを焼成するために歯科技工で使われる炉

【使用方法等】

[使用環境]

許容温度範囲: 5 ~ 40℃

許容湿度範囲: 31℃まで80%以下(動作時)、その温度を超えて40℃まで50%以下(静止時)

高度: 標高 2,000m 以下

[操作方法]

1. 取り付け及び動作時前準備

本品の詳細な組み立てと始動方法については、本品付属の取扱説明書を参照すること。

- (1) 開梱して中身を確認する。
- (2) 平らな場所に設置し、以下の手順で組み立てる。
 - ①冷却トレイをファーンスペースに取り付ける。
 - ②電源コードを電源ソケットに接続する。
- (3) バキュームポンプのプラグをファーンスペースのソケットに接続する。
- (4) 電源コードを電源に接続する。
- (5) 本品の背面にあるON/OFFスイッチを“I”の位置にすると、セルフテストが自動的に開始する。
セルフテストが終了すると、最後に設定したスタンバイ温度まで上昇する。不具合がある場合は、エラー番号がディスプレイに表示される。

2. メニューの動作と通常の設定方法

- (1) 本品はディスプレイ上に設定項目が表示される。設定項目は矢印キー右/左で選択する。希望の数値を入力して値を変更する。
- (2) 選択したプログラムやパラメータで入力した数値が実行不可能な場合は、カーソルに入った数値が点滅し、エラーメッセージがディスプレイ上に表示される。
- (3) プログラムがスタートした後、ディスプレイ上に関連項目が表示される。

3. 使用方法およびプログラムの説明

(1) スwitchのON/OFF

本品背面にあるON/OFFスイッチを“I”側にすると、自動的にセルフテスト始まり、終了するとディスプレイがスタンバイ表示になる。電源を切る時にはON/OFFスイッチを“O”側にする。

(2) 標準プログラムでの焼成

- ①タッチパネルに表示される指示に従い、プログラムを選択する。
- ②キー操作でファーンヘッドを開く。
- ③修復物を炉内に置いた後に、START キーを押す。
プログラムは自動的に進行する。
- ④プログラムが終了するとファーンヘッドは自動的に上昇し、信号音が鳴る。
- ⑤修復物を炉内から取り出した後、キー操作でファーンヘッドを閉じる。

(3) フリープログラムを使用した焼成

全てのプログラムに個別の値を設定できる。焼成については取扱説明書を参照すること。

【使用上の注意】

[重要な基本注意]

1. ラベルに指示されている電源(200-240V、50/60Hz)を使用すること。
2. 極低温の環境に置かれた場合は、4時間ほど室温になじませるまで電源を入れないこと。
3. 有害なガスを発生させる材料を使用しないこと。
4. 本品を使用する際は、ファーンエスの損傷が生じる可能性があるがあるので、塩素や塩酸を含んだカラーリングリキッド等を使用しないこと。
5. 電気ショックの原因となるので、液体や異物を本品内や換気口に入れないこと。
6. 感電などの危険があるので、カバー、底板等を開け、本体内部に触れないこと。
7. ファーンエスヘッドの上に物を置かないこと。また、ファーンエスヘッドの開閉を阻害しないこと。
8. 焼成プレートは焼成炉に正しく設置すること。
9. 焼成プレートを取り付けずに使用しないこと。
10. ケーブルや接続部分が破損する危険があるので、ファーンエスヘッドのケーブルを持って移動しないこと。
11. ファーンエスヘッドが閉まる時に障害となり、破損の原因となるので、焼成トレイを断熱材(ベース)の上に置かないこと。焼成トレイは必ず焼成プレートの中央部か、焼成後は専用の冷却トレイの上に置くこと。
12. 火傷の危険があるので、本品が動作中、高温になる部分に触れないこと。
13. 静電気によって部品が損傷する危険があるので、電子部品に触らないこと。
14. 安全性が確保できない場合は、事故を未然に防ぐために、電源から切り離すこと。例えば、下記のようなケースが該当する。
 - 本品が破損している。
 - 本品が動作しない。
 - 本品が保管状態の悪いまま長時間放置されていた。
 - 本品が過熱する。
15. 本品の近くで液体を使用しないこと。誤って液体が本品の内部に入った時は、電源プラグを抜いて修理を依頼すること。本品は動作させないこと。
16. バキュームポンプは通気が良い場所に設置すること。ファーンエスペースの換気口は障害物で塞がれないように常に注意すること。
17. 直射日光が当たらない場所に設置すること。
18. 通気を良くするために、本品と壁の間に十分なスペースを確保すること。
19. 本品を爆発の危険がある場所へ設置や、近くで使用しないこと。
20. 本品はファーンエスヘッドが開く時に放熱するので、近付き過ぎないように注意すること。
21. 本品は耐火性のテーブルの上に設置すること。
22. 本品には専用のバキュームポンプを使用すること。他の製品を使用する時は、最大消費電力を超過しないように注意すること。
23. 電源プラグは必ずアースを引いたソケットに接続すること。また、電源コードが高温のファーンエスヘッドに触れないように注意すること。
24. 本品にはEVCS(Electric Vacuum Control System)が備わっており、バキュームポンプが最初に正しく起動しなければ、プログラムが停止する。

25. 待機中はファーンエスヘッドを常に閉じた状態にすること。
26. 停電(約10秒)が起きるとプログラムが中断し、エラーが表示される。STARTキーを押し、プログラムを再スタートできる。
27. 温度チェックセットを使用して、定期的に炉内の温度校正を行うこと。
28. 本品が動作中は、無理に手でファーンエスヘッドを開けないこと。無理に開けるとエラーが表示される。
29. プログラム実行中に設定値を変更すると、プログラムが停止する。
30. ファーンエスヘッドを閉じたまま電源を入れ、炉内の実温度が600℃より高い場合、セルフテスト中にファーンエスヘッドが完全に開き、再度閉まる。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を使用前に必ず読むこと。

1. 本品及び部品は必ず定期点検を行うこと。
2. しばらく使用しなかった機器を再使用する時には、使用前に本品が正常かつ安全に動作するかを必ず確認すること。
3. 本品の清掃は、乾いた清潔な布か少し湿った布で行うこと。洗剤は使用しないこと。必ず電源プラグを抜いてから行うこと。
4. 調整、メンテナンス、修理、パーツの交換は、コンセントを電源から抜いた後に行うこと。
5. 電源が接続され、ファーンエスヘッドが開いた状態で調整、メンテナンス、修理を行う必要がある時は、注意事項や取扱方法を熟知した専門家が必ずこれらの作業を行うこと。
6. メンテナンス後、必要な安全確認テストを行うこと。
7. 純正パーツのみを使用すること。
8. 焼結リングで定期的に炉内の温度校正を行うこと。
9. 電源が接続され、ファーンエスヘッドが開いた状態で調整、メンテナンス等を行う必要がある時は、Ivoclar Vivadent株式会社に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売業者]

Ivoclar Vivadent 株式会社

電 話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造業者]

Ivoclar Vivadent GmbH(オーストリア)